

龍谷大学 > 理工学部 > 樋口 > 担当科目 > 2015 年 > 確率統計☆演習 II > プチテスト案内
確率統計☆演習 II プチテスト案内

プチテストは次のように行います。科目の成績 100 ピーナッツ中 40 ピーナッツです。

Part 1: (開始時刻)–(開始時刻+10 分) 外部記憶ペーパー作成

Part 2 で参照する外部記憶ペーパーを、配布する用紙に、各自が手書きで作成します。用紙は A4 両面が使えます。

作成の際には、教科書、配布物、ノート、参考書などのオリジナル、コピーなど、任意のものが参照できます(開始後の貸し借りはできません)。

なお、外部記憶ペーパーの作成は手書きに限ります。コピー機によるコピー、紙の貼り付け、プリンタによる印刷はできません。

Part 2: (開始時刻+10 分)–(開始時刻+90 分) 答案作成

Part 2 開始時に問題を配布します。Part 1 で作成した外部記憶ペーパーのみを参照可で答案を作成します。

大注意: 問題は 40 分ずつ前半後半に分かれており、40 分経過時点で前半の答案を提出します

スコアの算出方法 プチテスト終了時に、外部記憶ペーパーと答案の両方を記名して提出してもらいます。スコアは答案だけから決定します。外部記憶ペーパーは、今後の授業の参考とするためだけに使わせていただきます。

Part1, Part2 に共通する注意

- Part1, Part2 の間に休憩はありません。
- 遅刻して (開始時刻+10 分) 以降に入室する参加者は Part2 のみを行います。
- Part1, Part2 とも、他の人の資料、メモ、答案を参照すること、他の人と相談することは行わないでください。

趣旨 Part 1 で本や印刷物から転記するのではなく、あらかじめ、自分で重要と思う部分を 10 分間で写せる量にまとめて持ってくることをお奨めします。これは、持ち込みなしには解けないような難問を出すという意味ではありません。持ち込みなしでも解けてほしい問題を出題しますが、脳の記憶負担に対する癒し効果のために外部記憶ペーパーを使用します。

プチテスト出題計画

大注意: この計画は確定版ではありません. 2015-05-22 金までに精密化・確定します.
正規分布の上側確率 $Q(u)$ の表, t分布の $t_\alpha(k)$ の表, χ^2 分布の表は問題とともに配布します.

- 連続型確率変数の確率, 母平均値, 母分散 (L01 テストの再出題的)
- 同時分布, 周辺分布, 条件付き確率のどれかからどれかを計算する (L01,L03)
- 日本語による状況の説明からベイズ推定を行う (L05)
- 確率変数の独立性を利用して式を簡単化する (L02)
- 確率変数の独立性を判定する, 独立であるという条件を使って確率を定める (L02)
- 分割表からピアソンの χ^2 を求め検定する (L04)
- 確率関数, 確率密度関数からモーメント母関数を求める (L06)
- モーメント母関数からモーメントを求める (L06)
- 確率変数の和の確率, 母平均値, 母期待値, 母分散を求める (L07)
- 中心極限定理を利用して T_n, U_n に関する確率や量を求める (L07)